

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和2年10月19日
タイトル	じょうずに刈れたよ！初めての稲刈り！2020
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和2年10月11日（日）福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組が、福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員 かいのあきのり 廻野明倫さんのほ場で稲刈りの農業体験をしました。

今年は新型コロナウイルス感染の影響で例年実施している6月の田植えを中止されましたが、子ども達と農業の接点を作るため、稲の成長を見学に来るなど子ども達は稲刈りを楽しみにしていました。

台風14号の接近により急遽日程を変更したにもかかわらず多くの子ども達が参加しました。コロナ感染防止対策として保護者の参加は一人のみとし、全員マスクを着用しました。

朝からよく晴れ、稲刈りするには暑いくらい天候に恵まれました。子ども達はクラス分かれ、一組ずつ保護者の方と田んぼへ入ります。

保護者の方も稲刈りは初めての方が多いため、廻野さんから「左手で稲を持つときは親指が上になるように持って、鎌は手前にひくようにして切る」と教えていただきました。

最初は大人に助けをもらいながら危なっかしい手つきでしたが、子ども達はすぐに上手になりドンドン刈れるようになりました。稲刈りが初めてのお父さん、お母さん達も慣れてくると子どもとの稲刈りを楽しんでいました。

稲刈りを待っている子ども達は、周りの草やどんぐり、虫に興味津々で、虫を捕まえたり、どんぐりを見つけて拾っていました。



稲を刈り終わると、脱穀のためにコンバインに稲を入れて脱穀します。たくさん刈った稲を先生が協力してコンバインへ運びました。

コンバインから出る稲藁を家庭菜園に使いたいと持ち帰る保護者も！なかなか手に入らないからと喜んでおられました。

コロナ禍で多くの行事がなくなるなか、子ども達にとって貴重な体験となりました。家庭で稲刈りの思い出とともに農業や自然などに興味を持ってもらえるきっかけになったと思います。

